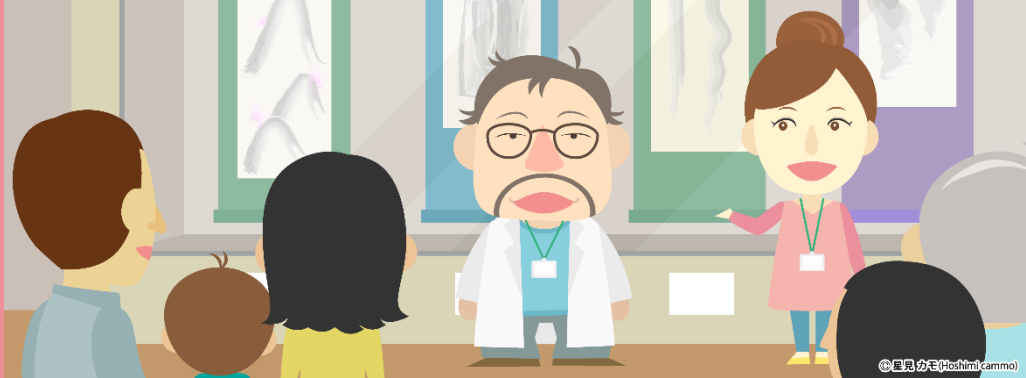




ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」が大妻女子大学博物館に導入されました

スマートフォンを利用して展示解説などを楽しめるミュージアム向け無料ガイドアプリ「ポケット学芸員」（開発元：早稻田システム開発株式会社（東京都新宿区））のサービスが、大妻女子大学博物館（東京都千代田区）にて令和8年9月28日より運用を開始したことを本日お知らせいたします。



導入の背景

大妻女子大学博物館では、来館者に向けた展示情報のさらなる充実と、より深く展示を楽しめる環境づくりを目指していました。同時に、大学博物館としての特色を活かすために、学生と共同で取り組める新たな形を模索。そこで、学内の学生サークル「大妻女子大学放送研究会」とのコラボレーションに乗り出し、現役の学生たちがナレーションを担当する学生参画型の音声ガイドが実現しました。

ポケット学芸員選定理由

すでに「I.B.MUSEUM SaaS」が導入されていたため、その付帯機能であるポケット学芸員を追加のシステム導入コストなしで展開できる点、専用の音声ガイド端末を導入・管理する必要がなく、来館者自身のスマートフォンを使って手軽かつ衛生的に利用してもらえる点が評価されました。

配信コンテンツの特徴

9月28日から開催中の特別展「大妻女子大学日本文学関係貴重書展示」では、同学が所蔵する日本文学関係の貴重書を展示中。古典作品の現代語訳や、絵巻物に描かれた図像の解説などの音声ガイドがポケット学芸員で配信されています。古典文学の奥深い魅力を、同学放送研究会の学生によるナレーションとともに、耳と目の両方で堪能できるコンテンツとして好評を集めています。

大妻女子大学博物館について

明治41年、大妻コタカが開いた裁縫・手芸の私塾をルーツとする大妻学院。夫・良馬とともに私財を投げ打って教育に尽くし、関東大震災や良馬の死、東京大空襲、コタカ自身の教職追放など苦難を乗り越えた末に、現在では学生数1万人超の学校法人へと発展を遂げています。平成19年4月、建学以来収集してきたさまざまな資料を教育・研究に活用する施設として、大妻女子大学生活科学資料館を設立。平成23年2月に東京都から博物館相当施設の指定を受け、平成24年4月の「大妻女子大学博物館」への改称を経て、令和5年4月からは指定施設へと移行。現在は、館内に移築復元されたコタカが晩年を過ごした居室の公開をはじめ、夫妻や大妻学院に関する資料などの収集・調査研究・展示を担っています。

導入施設
・機関

大妻女子大学博物館

〒102-8357 東京都千代田区三番町12
図書館棟 地下1階
03-5275-5739
<https://www.museum.otsuma.ac.jp/>

ポケット学芸員の概要

「ポケット学芸員」は、スマートフォンを利用して展示解説を閲覧・視聴できるガイドアプリです。ひとつのアプリを複数のミュージアムで共用的に使える点が特徴で、スマートフォンにインストールしておけば、全国のサービス実施館で展示ガイドを利用することができます。ガイド内容は、それぞれの博物館・美術館が独自に工夫して制作する仕組みを採用。館によってテキスト画面だけでなく写真や動画、音声など多様なスタイルで情報が配信されています。

2026年10月1日時点でサービス提供中 および提供予定のミュージアム

北海道博物館／北海道開拓の村／北海道立三好太郎美術館／だて歴史文化ミュージアム／中島・湖の森博物館／アイヌ文化交流センター（サッポロピリカコタン）／洞爺湖有珠山ユネスコ世界ジオパーク／とうや湖ぐるっと彫刻公園／史跡入江・高砂貝塚／入江・高砂貝塚館／北海道立近代美術館／史跡北黄金貝塚公園／札幌芸術の森美術館／札幌芸術の森野外美術館／斜里町津軽藩土文化財関係／知床博物館／北海道立釧路芸術館／洞爺湖芸術館／八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館／八戸市博物館／史跡根城の広場／一関市博物館／岩手県立博物館／花巻市博物館／北上市鬼の館／仙台市博物館／石巻市博物館／宮城県美術館／東北歴史博物館／歴史と文化の美術館 わらべの里／大山忠作美術館／諸橋近代美術館／いわき震災伝承みらい館／茨城県近代美術館／ミュージアムパーク茨城県自然博物館／予科練平和記念館／徳川ミュージアム／歴史と未来の交流館／群馬県立土屋文明記念文学館／飯能市立博物館 きっとす／戸田市立郷土博物館／鉄道博物館（さいたま市）／三ヶ島蔵子資料室（所沢市）／行田市郷土博物館／入間市博物館ALIT／旧石川組製紙西洋館／旧黒須銀行／れきしてらす（新座市歴史民俗資料館）／造幣さいたま博物館／埼玉県立近代美術館／さいたま市若槻人形博物館／浦安市郷土博物館／新宿区立林芙美子記念館／世田谷区立次大夫堀公園民家園／新宿区立漱石山房記念館／昭和女子大学光葉博物館／パルテノン多摩ミュージアム／く／くにたち郷土文化館／東京理科大学近代科学史料館／国立印刷局お札と切手の博物館／慶應義塾大学／新宿区立新宿歴史博物館／八王子市絹の道資料館／賀川豊彦記念松沢資料館／福生市郷土資料室／北区飛鳥山博物館／桑都日本遺産センター八王子博物館／東京家政大学博物館／紙の博物館／東京理科大学なるほど科学体験館／世田谷区立郷土資料館／世田谷区立岡本公園民家園／國學院大學博物館／国史跡八王子城跡／昭和館／船の科学館／立川市歴史民俗資料館／大妻女子大学博物館／しょうけい館（戦傷病者史料館）／東京農業大学「食と農」の博物館／消防博物館／田端文士記念館／郷さくら美術館／青梅市郷土博物館／横須賀美術館／神奈川県立歴史博物館／川崎市岡本太郎美術館／箱根町立郷土資料館／ロマンスカーミュージアム／ニュースパーク（日本新聞博物館）／大和市つる舞の里歴史資料館／あつぎ郷土博物館／横須賀市自然・人文博物館／観音ミュージアム／小林古径記念美術館／富山県［立山博物館］／富山県水墨美術館／高志の国文学館／小松市立宮本三郎美術館／小松市立博物館／福井市立郷土歴史博物館／名勝養浩庭園／福井県立美術館／福井県立歴史博物館／福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館／敦賀市立博物館／山梨県立美術館／御師 旧外川家住宅／長野市立博物館／松本市美術館／高橋まゆみ人形館／松本市時計博物館／日本童画美術館 イルフ童画館／白馬五竜高山植物園／松本市立博物館／守屋多々志作品展（大垣市）／岐阜県博物館／大垣市日本昭和音楽村江口夜詩記念館／中津川市鉱物博物館／大垣市墨俣さくら会館／中津川市東山魁夷心の旅路館／スイトピアセンター 学習館／大垣市立図書館／大垣市上石津郷土資料館／大垣市輪中館／輪中生活館／大垣市奥の細道むすびの地記念館／大垣市歴史民俗資料館／スイトピアセンター 文化会館／大垣郷土館／多治見市モザイクタイルミュージアム／大垣城／大垣市金生山化石館／赤坂港会館／旧清水家住宅／墨俣一夜城（墨俣歴史資料館）／駿府城二の丸 東御門・翼橋／静岡市歴史博物館／浜松市美術館／上原美術館／田原市博物館／豊橋市二川宿本陣資料館／安城市歴史博物館／豊橋市美術館／INAXライブミュージアム／古川美術館／あいち朝日遺跡ミュージアム／豊橋市自然史博物館／稲沢市荻須記念美術館／碧南市藤井達吉現代美術館／名古屋美術館／愛知県陶磁美術館／刈谷市歴史博物館／桑名市博物館／彦根城博物館／滋賀県平和祈念館／滋賀県立琵琶湖博物館／史跡草津宿本陣／草津市立草津宿街道交流館／向日市文化資料館／重要文化財「聴竹居」／京都産業大学 神山天文台／大阪市立東洋陶磁美術館／シマノ自転車博物館／大阪国際平和センター（ピースおおさか）／川村義肢株式会社／貝塚市善兵衛ランド／造幣博物館／三木美術館／兵庫県立歴史博物館／小林一三記念館／姫路市立美術館／但馬牛博物館／奈良文化財研究所／奈良県立美術館／

わらべ館／松江歴史館／松江ホーランエンヤ伝承館／島根県立宍道湖自然館ゴビウス／島根県立美術館／鹿島歴史民俗資料館／岡山市立オリエント美術館／頼山陽史資料館（広島県立歴史博物館分館）／みよし風土記の丘ミュージアム（広島県立歴史民俗資料館）／ふくやま文学館／造幣局広島支局造幣展示室／広島市現代美術館／ふくやま草戸千軒ミュージアム（広島県立歴史博物館）／湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）／UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）／中原中也記念館／下関市立考古博物館／山頭火ふるさと館／萩博物館／高松市公文書館／香川県立ミュージアム／瀬戸内海歴史民俗資料館／高松城跡ガイダンス施設陳列館／高松市美術館／菊池寛記念館／高松市埋蔵文化財センター／高松市平和記念館／高松市讃岐国分寺跡資料館／特別史跡讃岐国分寺跡公園／上島町岩城郷土館／愛媛県総合科学博物館／高知市立自由民権記念館／高知県立坂本龍馬記念館／高知県立歴史民俗資料館／高知県立美術館／横山隆一記念まんが館／国指定史蹟天然記念物 龍河洞／嘉麻市立織田廣喜美術館／筑前町立大刀洗平和記念館／九州産業大学美術館／北九州市立松本清張記念館／北九州市立文学館／北九州市立美術館／北九州市立いのちのたび博物館／佐賀県立博物館・美術館／佐賀県多寿市／佐賀県立九州陶磁文化館／長崎歴史文化博物館／長崎県美術館／諫早市美術・歴史館／熊本県立美術館／天草ロザリオ館／天草コレジヨ館／くまもと文学・歴史館／崎津資料館みなと屋／天草キリシタン館／熊本県立装飾古墳館／天草市立御所浦忍竜の島博物館／御船町恐竜博物館／八代市立博物館未来の森ミュージアム／熊本博物館／臼杵市歴史資料館／宮崎県総合博物館【みやはく】／種子島開発総合センター「鉄砲館」／かごしま環境未来館／鹿児島県歴史・美術センター黎明館／鹿児島県立博物館／天城町歴史文化産業科学資料センター「ユイの館」／アスミハイクス

アプリの詳細情報はこちらから

「ポケット学芸員」ホームページ
<https://welcome.mapps.ne.jp/pocket>



アプリのダウンロードはこちらから

ポケット学芸員は、GooglePlay／App Storeにて、無料でダウンロードいただけます。「ポケット学芸員」と検索してください。
 （推奨OS：Androidは5.0以上、iOSは10.0以上）

Android
<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.waseda.pocket.curator>



iOS
<https://itunes.apple.com/jp/app/pocket-curator/id1088763931?mt=8>



「ポケット学芸員」導入ご検討施設の皆様

ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」は、クラウド型収蔵品管理システム「I.B.MUSEUM SaaS」の機能の一部です。導入には「I.B.MUSEUM SaaS」のご契約が必要となります。

【お問い合わせ窓口】
 早稲田システム開発株式会社
 TEL：03-6457-8585
 Email:sales@waseda.co.jp

【Webお問い合わせフォーム】
<http://www.waseda.co.jp/contact>